

# コレクション展2： 光、この場所で

Museum Collection 2 : Light in This Space

Press  
Release

報道用資料  
2016年9月改訂版

# 特集展示 坂倉新平

Special Feature - Shinpei Sakakura

2016年10月22日(土) - 2017年1月15日(日)

神奈川県立近代美術館 葉山

主催：神奈川県立近代美術館

開館時間：午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(ただし1月9日は開館)、12月29日(木) - 1月3日(火)

観覧料：一般250(150)円、20歳未満と学生150(100)円、65歳以上と高校生100円



1. 小川待子  
《2002-WA-BLUE 六》2002年  
photo©Norihiro Ueno

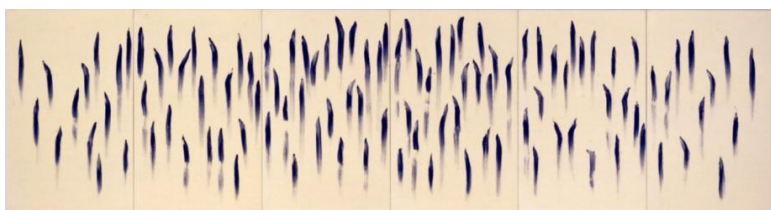
第二次世界大戦からの復興期、人々の暮らしがまだ安定したとはいえ1951年11月。文化・芸術の力をもって人間相互の理解を深め、歴史的美術を現代の目で見つめなおすことを方針にして、神奈川県立近代美術館は鎌倉の地に開館しました。当時を知る人は、戦後の混乱と再生の時代にあつて、美術館の開館はひとつの光のように感じられたといいます。

今回のコレクション展2では、「陽光礼讃 谷川晃一・宮迫千鶴展」と「特集展示 坂倉新平」に呼応する形で、開館当時の「光」を思い起こしながら1960年代以降を中心に、「光」を宿した作品をあつめてご紹介します。

## ■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：11月6日(日)、12月10日(土) 各日午後2時 - 2時30分

※申込不要、参加無料(ただし「陽光礼讃展」または「コレクション展2」の当日観覧券が必要です)



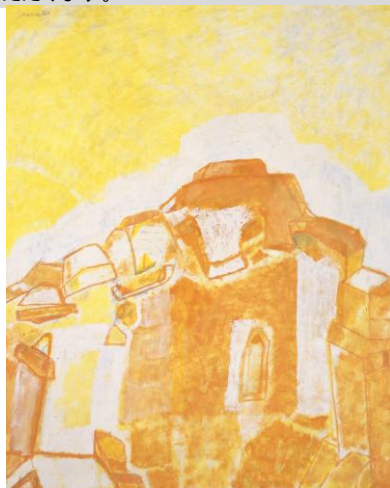
3. 李 禹煥《線より》1980年 photo©Norihiro Ueno



4. 猪熊弦一郎《ENTRANCE B》1964年  
©The MIMOCA Foundation



5. 高松次郎《世界の壁》1967年 photo©Norihiro Ueno



2. 坂倉新平  
《内なる光—金色の僧院》  
1992年

コレクション展2では、坂倉新平(1934-2004)の作品を特集展示します。坂倉新平は岐阜県に生まれ、1951年、17歳で美術の道を志して上京、文化学院美術科で学び、1963年から1980年までフランスを拠点に活動した後、晩年は神奈川県内の二宮町で過ごしました。

新平が上京した1951年には、建築家・坂倉準三が師のル・コルビュジエに先んじて美術館建築を実現させています。それが当館の鎌倉館です。1953年、19歳のときに新平は坂倉準三と出会いました。坂倉準三は新平に対して、美しいものをみるために旅行でもなんでもやるように、と薦めます。新平はその言葉を受けて世界各地を旅し、作品にはその旅の記憶が反映されていきます。この出会いから40年後、1993年には鎌倉館で「今日の作家たちV - '93 坂倉新平・舟越桂」展を開催しました。

今回は、この二人展以降の作品を中心に紹介します。様々な土地で目にした光が満ちた画面には、見るものの心のうちを満たしていくような、広さと深さがあります。一色海岸に面して建つ葉山館の建築を活かし、海を見下ろす窓のある展示室のブラインドを開けて、海辺の光とともに作品をご覧頂きます。



6. 坂倉新平《光を揺さぶる》2000年

お問合せ先： 神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1  
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968 / e-mail : info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp  
広報担当：土居、川人、児矢野 コレクション展2担当：李、橋

美術館ウェブサイト：<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>  
公式ツイッターアカウント@KanagawaMoMA



神奈川県立近代美術館